[説明資料(提出ファイル)] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫 したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFに変換した後、web提出フォームにて提出する。

個人・ グループ名	稲垣 綾斗	大学名	青	静岡大学	
作品名	貫接合部を活用した耐震シェルター家具			人数	1名



強い!安い!简単! 貫接合部を活用した 耐震シェルター家具



震度6弱以上の揺れで倒壊する家屋は全国に1080万棟

▶全体の3分の1!

総務省「住宅・土地統計調査」 (2008年版) ==

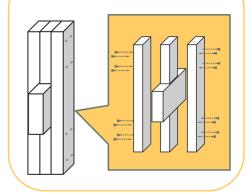
しかし・

「古い住宅に改修費用をかけたくない」 「賃貸住宅だから地震対策なんてできない」

震災時に避難できる**防災機能を持ったシェルター家具を自作**できれば良いのではないか!

## 豊富な靭性を持った貫構造に着目し、誰でも簡単に製作できる接合部を開発!

## 三枚重ね柱貫構造



- ・ねじと角材のみで貫構造を実現
- ・柱の組み合わせ方により設計が自由
- ・接合部の足し算で構造計算ができる





子ども用学習デスク

リビング用テーブル

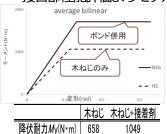
自分の欲しい家具に合わせた設計が簡単!

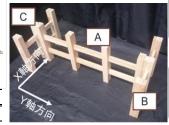


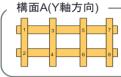
ミでの貫加工など 高度な加工技術 必要なし!

2×4 スプルース 1本約400円とすると 骨組のみで約5000円!

## 接合部性能評価よりモデルの構造性能を算出







L	構面A(Y軸方向)	水平剪断力	壁倍率
	木ねじ	658 × 8=5.3(kN)	4倍
	木ねじ+接着剤	1049 × 8=8.4(kN)	6.6倍

伸曲0,0(人物力的)						
	1		3		5	
	2		4		6	
_	-		4		ŭ	_

構面B+C(X軸方向)	水平剪断力	壁倍率	
木ねじ	658 × 6 × 2=7.9(kN)	6倍	
	1049 × 6 × 2=12.6(kN)	10倍	

壁倍率に換算すると基準値(1倍)を十分に満たす数値を表した!